

教 科	家 庭	科 目 (講座名)	子どもの発達と保育 (子どもの発達と保育乙)
-----	-----	----------------	-----------------------------

対象年次	期 間	単位数	授業形態	必修／選択
1年 2年 3年 4年	前 期 後 期 通 年	2	講 義 実 技 実 習	<input type="checkbox"/> 必ず履修しなければならない科目 <input type="checkbox"/> 選択して履修しなければならない科目群の中の一科目 <input type="checkbox"/> 履修するか、しないかを選択できる科目

履 修 の 条 件	子どもの発達と保育甲を履修していること
-----------	---------------------

科目のねらい	子どもの発達と保育甲で学んだことをさらに深め、幼児の発達の特徴、幼児の生活と保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの健全な成長に関心を持ち、かかわろうとする意欲や能力、実践的な態度を育てることを目標とする。(特に乙では、幼児期後半のことを中心に学ぶ)	
指導の方法	講義が中心であるが、適宜保育に関する実習(幼児食の調理、児童文化財の製作)を行ったり、視聴覚教材を用いて、実践的な態度・技術が身につくように授業を進める。	
おもな学習内容	【前期】 * 人間としての発達 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児期(後期)の特徴 * 発育すること発達すること <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の遊びと運動(児童文化財製作含む) ・ 人間関係の発達 ・ 発達の個別性と保育 * 子どもの生活 <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養と食事(幼児食の調理を含む) 【後期】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 被服と寝具 ・ 生活習慣の形成 ・ 健康管理と事故防止 ・ 生活と環境 * とともに生活する <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育者の役割 ・ 家庭保育と集団保育 	評価のポイント * 実習・授業への参加の仕方や態度(関心・意欲・態度)によって評価します。 * 実習後のレポートからも評価します。(思考・判断・表現) * 調理実習時の技術・技能も評価します。 * 年間4回考査を実施(知識・理解)

使用教科書・教材	実教出版 子どもの発達と保育
準備物、費用等	【費用】 実習費として約4000円